

研究成果報告書の概要

講座等名	腎泌尿器外科学講座	事業推進者名	松田 公志
所属部門	代謝部門		
分担研究課題	分子イメージングを用いた泌尿器科領域における組織幹細胞・がん幹細胞の解明		
キーワード	組織幹細胞、がん幹細胞、BMI1		
講座内の本プロジェクト参加研究者数			2名
<p>研究組織（本プロジェクトに参加する研究者、大学院生等のリストおよびそれぞれの役割）</p> <p>駒井資弘：研究全般の実施、論文作成、学会発表</p> <p>松田公志：研究全体の統括</p>			
<p>研究成果の概要（平成 29・30 年度の研究成果について）</p> <p>平成 29 年度には、組織マイクロアレイ法を用いた膀胱がんの予後規定因子の検索（BMI1 を含めた種々の遺伝子について免疫染色を施行）を行い、BMI1 高発現している膀胱がんの予後が不良であることを突き止めた。以前、我々が報告した“生殖幹細胞は分化細胞よりも BMI1 の発現が高い”ことと矛盾しない結果であった。平成 30 年度にはデータをまとめ、現在、論文投稿準備中である。</p> <p>さらに平成 29 年度から科研費基盤研究(C)のテーマである“腎不全進行克服に向けた腎臓における組織幹細胞階層構造解析”も研究しており、多色細胞系譜追跡法にて腎組織幹細胞にも BMI1 陽性細胞が関与している可能性を発見した。腎組織幹細胞の解明は、医療費を圧迫している原因の一つである透析患者数の減少に繋がる可能性があり社会的にも非常に重要である。現在は障害時の再生に BMI1 陽性細胞が関与するか研究中である。</p>			